

(3) 広報ひかり

はたちになつて

思うこと



花澤真由美

私は、高校を卒業後すぐ就職しましたので、両親や身近な人達に保護されながらも、多少は世間の荒波にもまれてきたと思っています。

今、二十歳になることにより、選挙権が与えられ、一個人としての責任がとわれ、酒、たばこを飲むことが認められる等、いろいろな権利や義務が与えられます。

今までは、社会から保護され、ぬくぬくと生活をしてきたのが急に社会の中へつき離されるのですから、二十歳になったといえどもまだまだ半人前で不安定ですが、その一方、無限の可能性を持っていると思います。

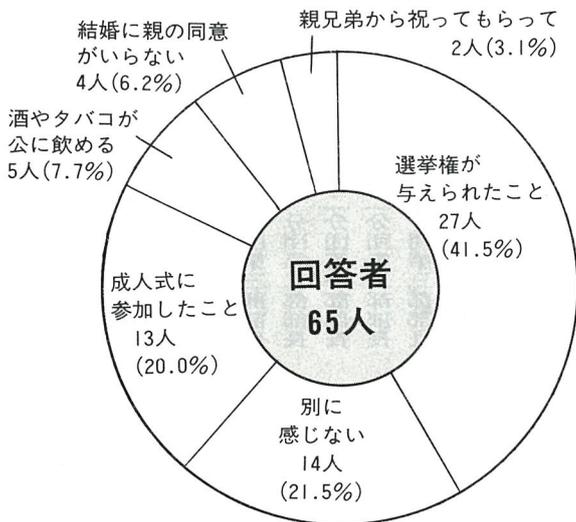
これからは、自分自身の行動や言動に対し今まで以上の責任を持つとともに、先輩、後輩を大切に、社会に対しては自分を試すつもりで積極的な姿勢で何ごとにもとりくんで、個性あ

る人生をおくりたいと思います。そして、今日成人を迎えられたことをうれしく思い、両親、そしてまわりの皆様に深く感謝しています。

最後に、今まで述べてきた事を念頭に置き成人としての第一歩を踏み出したいと思っています。

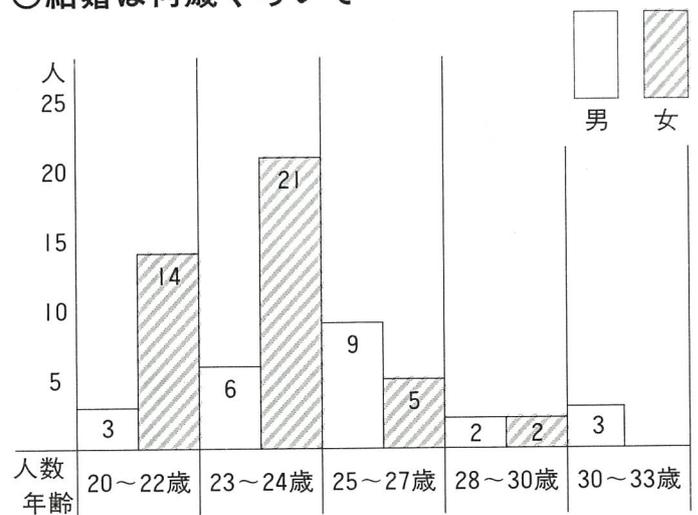
「はたちの意識調査」65人が協力
男23人・女42人

◎大人になった実感を何で感じますか。



選挙権が与えられたこと・成人式に参加したことで「はたち」になったことを感じた人が全体の61.5%いました。

◎結婚は何歳ぐらいで



女性は20歳から24歳までの間に全体の83.3%の人が結婚したいと思っているのに対し、男性は23歳から27歳頃と考えている人が65.2%と、女性の早婚を表明しています。

◎将来もずっと光町に住みたいと思いますか。

	男	%	女	%
住みたい	17	73.9	15	35.7
住みたくない	6	26.1	27	64.3

全体の50.7%の人が将来は住みたくないと考えているようです。特に女性はお嫁に行くなら町外を望んでいるようです。

おめでとう、二十歳。

民法第三条は「満二十歳ヲ以テ成年トス」と定めており、法律上、独立の社会人としての地位が与えられます。

二十歳になったみなさん今年、一人前の大人として、また、一人の社会人として、新しい「門出」の年です。

大人になったことを自覚し、新しい時代を担う若者の一人としてがんばってください。